取材のご案内

PRESS RELEASE

独立行政法人国際協力機構
九州センター（JICA 九州）
2025 年４月４日

パラオの交通関係者が宮崎での地域交通の実践を学ぶ！

持続可能な交通システム構築に向けた本邦研修を実施

独立行政法人 国際協力機構（JICA）は、**パラオ共和国**の持続可能な交通システムの構築を目的とした**「環境配慮型交通システム整備プロジェクト」**の一環として、2025 年 **4 月 1 日から 4 月 11 日**までの期間、日本で第 2 回本邦研修を実施しています。

本研修では、パラオ政府関係者や公共交通の実務担当者ら **5 名**が参加し、地域交通政策の策定やバス運行の効率化、環境に配慮した交通手段の導入等について、日本各地の先進的な取り組みから学ぶ貴重な機会となっています。本研修は、パラオにおける公共交通の導入や改善に向けた制度設計、人材育成、技術導入等を支援するための能力強化を目的としています。

宮崎での視察：地域課題に応える先進的な取組に注目！

4 月 7 日から 8 日にかけて訪問する**宮崎県**では、特に、以下のような先進的な地域交通の実践に参加者から高い関心が寄せられています。

- **貨客混載**による**地域物流とバス運行の効率化**
- **遠隔点呼システム**を活用した運行管理の効率化と安全性向上
- 観光資源と連携した**グリーンスローモビリティ**（GSM）の導入
- 地域のハブ機能を担う**宮交バスターミナル**の運営状況把握

これらの視察・講義を通じて、参加者は日本における**地域交通の持続可能な発展モデル**を直接体験し、パラオ国内での制度設計や実証実験の展開に活かすための具体的な知見を得る予定です。

■ぜひ取材・報道をご検討ください。なお、取材いただける場合は、お手数ですが、下記問い合わせ先に**取材当日の 10 時まで**に事前連絡をお願いいたします。

＜取材可能な日程＞＊当日は研修監理員が同行し、逐次通訳（日本語⇔英語）を行います。

4/7（月）	12:00	～	13:00	視察	**宮崎交通西都営業所（遠隔点呼装置・客貨混載積み込み）**	宮崎交通西都営業所
4/8（火）	11:35	～	12:15	視察	**宮交シティ（乗車券発売窓口、バスターミナル内施設）**	宮交シティ

多様な地域視察で知見を深める

宮崎県以外にも、参加者は以下の地域を訪問し、多様な事例に触れる予定です。

- **福岡県**：オンデマンドバス運行、郊外型交通計画、観光と連動したオープントップバス体験
- **東京都・茨城県境町**：自動運転バスの実証運行とその社会実装への取組
- **神奈川県**：民間事業者によるバス運転士の教育・研修施設視察

【研修概要】

- **研修名**　　:「環境配慮型交通システム整備プロジェクト」第 2 回本邦研修
- **研修期間**　　:2025 年 4 月 1 日(火)～11 日(金)
- **参加者**　　:パラオ共和国 関係機関職員 計 5 名
- **宮崎滞在期間**　　:4 月 6 日(日)～8 日(火)
- **主な研修先**　　:宮崎交通株式会社、宮交バスターミナル、宮崎市内各所ほか

※福岡・東京など他地域でも実施

【本件に関する問い合わせ先】	
◆JICA 事業について 株式会社アルメック(JICA プロジェクト実施者) 海外事業本部・交通計画部 担当:関　陽水(せき　ようすい) Tel:03-3353-3205 E-mail:seki@almec.co.jp	◆当日の取材について 宮崎交通株式会社 バス事業兼乗合部、 担当:川崎　智(かわさき　さとし) Tel:0985-32-3911 E-mail:kawasaki-satoshi@miyakoh.co.jp